



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2013年2月号

「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう
 アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする
 西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で
 中部部長 : 前へ! 声を掛け合い
 プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を
 強調月間・ポイント:【TOF・CS・FF できることから始めましょう。TOF・FF あなたの献金が命を助けま
 す。】

2月例会および今後の予定案内

【2月第1例会】

日時: 2月14日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 卓話(テーマ未定)
 講師: 想念寺住職 渡辺観永氏

【2月第2例会】

日時: 2月28日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会の打ち合わせ
 出席義務者: 役員(高田・榎田・常盤)
 3月担当者(万福寺・常盤)
 4月担当者(島崎・後藤)

【今後の予定】

1. チャリティ・ウォーク

日時: 3月9日(土)
 場所: 東山公園
 費用: 1000円/人(予定)
 ◆時間・集合場所未定

2. 3月第1例会

日時: 3月14日(木)・18:30-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 卓話・榎田

3. 3月第2例会

日時: 3月28日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室

1月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○	○					
副会長	小澤 幸男									
書記	榎田 守隆	○	○	○						
	後藤 猛	○	○							
	島崎 正剛	○			○					
	鈴木 誉三	○	○		○					
会長	高田 廣	○	○	○	○					
会計	常盤 真理子	○								
連絡主事	万福寺 昭美	○	○							
ゲスト	荒川 文門	○								
課外活動	①南山クラブ「リーダーとの新年会」1/13									
	②西日本区大会実行委員会 1/25									
	③会長連絡会議 1/29									
	④									
	⑤									
	⑥									
	⑦									
出席率(%)										88.9
クラブファンド(円) ・ 当月/累計		0								17700
3月号寄稿者・小澤(400字詰め原稿用紙4-5程度)										
4月号・鈴木/5月号・島崎/6月号・高田										

【2012-13年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Yサユース/榎田守隆・広報事業、プリテン担当、HP委員/後藤猛・

副会計/島崎正剛・EMC、交流/鈴木誉三・会計監査、地域奉仕、環境/高田廣・ファンド

TOF=Time of Fast(断食のとき) CS=Community Service(地域奉仕) FF=Family Fast(家庭での断食)

1 月第 1 例会報告

日時:1 月 10 日(木)・18:45-20:00

場所:名古屋 YMCA 会議室

2013 年度最初の例会に荒川中部部長が公式訪問されました。まず、高田会長のご挨拶から始まる。

あけましておめでとうございます。昨年はみなさまのご協力により、会長職を大過なく務めさせていただきました。今年もよろしく願いいたします。就任時のテーマ『明日に希望を、クラブに活力を』を基に、引き続き「人生は輝き続けるため、常にチャレンジ、年齢を気にせず楽しむもの、頑張り過ぎず諦めない、年齢と経験は社会に寄与するもの、花の 50 代、はじける 60 代、笑顔の 70 代、チャレンジの 80 代、安らかな 90 代、そのため水と栄養のバランスにこだわり、健康第一の生活習慣作りをする」をモットーに、更に頑張りましょう。



荒川中部部長からは、中部部会の活動状況のお話がありました。①「ワイズメンズクラブ」名称変更の可否についてクラブ会長を対象にした国際投票の結果、名称・マークの変更が決定しました。具体的な作業はまだですが、名称は Y サポートクラブ、Y クラブ、Ys クラブなどが候補に挙がっています。理由は「メンズ」の語句がジェンダーを意識したものと思います。②中部部会会員が半年間で 2 人増員になりました。③3 月 20 日(祝日)評議会を開催します。同時に YY フォーラム、ステップ(ユース短期交流事業)によりケニア、タンザニアでボランティア活動を実践した四日市クラブ所属大西さんのご子息の報告会が行われます。評議委員以外の方の参加を歓迎します。④4 月 14 日(日)にシンポジウムを開催します。テーマは中部部会の機構改革、それに伴い部則も変更の予定です。最後に「部長職は忙しい」との本音が漏れる。西日本区の各部会や会議で 9 月の土日はすべて潰れ、10、11 月も同じような状態とお話に、官僚組織の肥大化を皮肉った「パーキンソンの法則」を思い出した。「仕事は、その遂行のために利用できる時間をすべて埋めるように拡大する」。

1. 連絡事項・高田

(1) 京都グローバルクラブ 20 周年記念例会

日時:3 月 3 日(日)・14:00-

場所:リーガロイヤルホテル京都

費用:10000 円/人

(2) 2 月第 1 例会

小澤さんを通じて想念寺住職に卓話講師を依頼中、もし承諾いただければ住職の卓話とする。

(3) 3 月第 1 例会

ケンポーで反省会を開催する。

ただし、住職のお返事次第で(2)、(3)項を変更する可能性がある。

(4) 年賀はがき当選切手取集

年賀はがきの切手当選の方は、現物に引き換えて 2 月第 1 例会(2 月 14 日)に持参願います。

2. 西日本区大会作業分担・鈴木

プラザ、南山、グランパスは 6 月 22 日、能楽堂会議室の受付、荷物預かりを受け持つが詳細は不明。

3. YMCA 報告・万福寺

3 月 9 日ごろ(日時未定)東日本大震災の被災者支援のイベントを開催する予定、イベント内容はチャリティ・ウォークを考えている。

1 月第 2 例会報告

日時:1 月 24 日(木)・18:45-19:45

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 連絡事項・高田

(1) 2 月第 1 例会

a. 想念寺住職の承諾を得ましたので、予定通り卓話とする。

b. 年賀はがき切手シートについて(略)

(2) 3 月第 1 例会

ケンポーで反省会を予定していたが、4 月 POM の飲み会と 2 ヶ月続いたため卓話に変更したい。榎田さんをお願いする。

(3) 次期役員

次期中部部長の平口さんから、クラブの次期役員の問い合わせがありました。3 役は会長島崎・会計後藤・書記榎田、その他役員は次期会長の島崎さんに一任する。

2. 1 月の課外活動実施・予定報告・榎田

(詳細 1 面)

3. 西日本区本部への上納金確認・鈴木

今年度の予算に基づき、Y サ・TOF・CS など事業部ごとの寄付金額を確認、会計の常盤さんに振り込みをお願いする。

4. YMCA 連絡事項・万福寺

チャリティ・ウォークを開催

日時:3 月 9 日(土)・集合場所、時間未定

コース:東山-平和公園1万歩コース
費用:1000円を予定する。

リーダーと共に新年会



リーダーとワイズメンが交流する恒例の南山クラブ「リーダーとの新年会」は、1月13日午後7時より、八事のGOKURAKU亭でリーダー9人のほかワイズ、YMCA職員など総勢21人が参加して行われた。

わがクラブからは大島さんとわたし榎田が参加、久しぶりに若者との飲み会である。まず南山クラブの小林さんの乾杯のあとの自己紹介は、ワイズたちの屈託のない昔話に続き、大学生のリーダーは就職など切実な話題をさらりと話している。個々に聞くといまどきの若者は堅実である。大学を卒業したら専門学校に入り、料理人になりたいという者もいる。われわれ年寄は「大学を出てまで」と思うが、現実と折り合いをつけて「こんなもんか」と満足する若者が7割いる世の中。法隆寺の天井板の裏に「今の若者は・・・」との落書きがあったとか、いつの時代でも年寄から世相を先取りする若者の価値観への常套句らしい。

もう日本には高度経済成長時代は来ない。これからの安定成長を彼らが過ごした50年後、「今の若者は・・・」と言う愚痴は何だろう、などとぼんやり考えているうちにお開きになった。



私をスキーに連れてって

今年もスキーシーズンがやってきた。YMCAも年

末から子どものスキーキャンプが開催され、多くの子どもたちがスキースポーツを愉しんだ。

スキーといえば、以前スキーブームが巻き起こったことを思い出す。今から25年前の1987年に公開された「私をスキーに連れてって」をきっかけに、全国にスキーブームが起こったことを思い出す。この映画は、バブルの時期に重なったこと、週休2日制の一般化やスキー用品の低価格化とも重なり、猫も杓子もスキー場へ行く若者層を急増させた。スキー場は「激混み」で、リフト待ち30分は普通、ゴンドラリフトなどは1時間待ちという事態も少なくはなかった。リフトの列は文字通り「長蛇の列」で、今では想像もできない状況だった。また、映画のシーンを真似したことも思い出す。ゲレンデ脇の雪の中にビールやワインを冷して飲んだり、セリカXXに乗っている人が周りにいたり・・・、さすがバブルだなと少し笑える。

あれから25年、スキー業界は大きく変わった。一番大きな変化は、スキー用具の劇的な進歩だといえる。昔はスキーでターンすることが難しかったが、今ではスキーが勝手にターンしてくれる。それほど劇的にマテリアルが変化した。より快適なスキースポーツが誰でも簡単に楽しめるようになった。まさに生涯スポーツとしてのスキースポーツだ。

今シーズンは、スキー人口がやや増加しているらしい。昔のスキーブーム世代が親となり、ファミリーでスキー場へ向かうケースが多いと聞く。YMCAのスキーも同様、子どもの頃にYMCAのスキーキャンプに参加したという人が親となり、その子どもたちを連れてきてくれる。今後、地球温暖化が進むと楽しめなくなるスポーツの一つがスキーだ。そんな貴重なスポーツ体験を経験しないと、なんと寂しいことかと思う。寒い冬がまだまだ続くが、寒さを楽しみ、冬のスポーツを楽しみながら貴重な時をすごしたいと思う。

「さあ、みんな、スキー場へ行こう！」
(万福寺 昭美)

ななの独り言

わたしはヨークシャー・テリア似の犬、名前は「なな」いま5歳です。

1年ほど前の12月末、わたしは見知らぬ街の公園に捨てられた。ベンチの横でうとうと眠っている前に人の気配を感じて目を覚ますと、3、4人の子どもが立っている。「捨て犬かな」、「道に迷ったかもしれないよ」、「逃げてきたんだ」と口々に話している。1人が「捨て犬だ」と言うといきなり、サッカーボールをわたしに向かって投げた。あとは街の中を追っかけ回されることになる。ある家の庭に逃げ込み、木の根元へ掃き寄せられた落ち葉の中に潜り込んだ。お節介な子が「お

ばさん、庭に犬が入ったよ」とご注進に及ぶ。奥さんは「はい、はい、分かってますよ」と取り合わない。追い出して欲しかった子どもたちの思惑が外れ、スゴスゴと退散した。取りあえずいじめはまぬがれたが、今度は空腹が襲ってきた。この家の人が、残り物でも呉れるだろうと期待したまま正月を迎えた。あとで聞くと「餌をやると居つくからほっておくように」のご主人の言いつけだったようだ。

近くの官舎に住むこの娘夫婦が小学校4年生と幼稚園の孫娘を連れてお年始に来た。2人はわたしを見付け、可哀そうだから飼ってあげて、の懇願にご主人も折れ、「もし迷子で飼い主が見つかったら返す」の約束でしばらく居ることになった。やっと正月2日にお節料理をご相伴にあずかる。数日後、孫娘たちから電話の「まだあー」攻勢にご主人も覚悟したらしく、名前をどうすると聞いている。「くうちゃんの子分だからハチがいい」、孫娘は「いやだ」、「じゃあロク」「どうしてナナを飛ばしたの」「雄だから」数字にこだわっている。女性名で心外だが、下の「れいちゃん」と話し合いナナに落ち着いたようだ。

バックに入れられて保健所に行く。職員は笑いながら「わんちゃんはよかったのに」という。ご主人は狂犬病の予防注射を心配してのことだった。「名前は?」と聞かれ「ななです」、「片仮名ですか?」「いや平仮名で」、「雌ですね」「雄です」、「歳は?」「さあ、拾ったので」、「・・・」「これ、何歳ですかね」とわたしをバックから出してカウンターに置く。「うーん、4、5歳ぐらいかな」「じゃあ、4歳でお願いします」そう、若い方がいい。「犬の4歳は人間の何歳ぐらいですかね?」妙なことを尋ねる。「犬は1年で人間の成人になります。あとは1年で人間年齢の4歳ずつ年を取ると言われていますが」「ということは・・・人間の32歳か」とわたしの顔を見ながら感心している。年の初め、職員さんも暇のようだ。こんなことで登録が終わり、わたしは晴れてこの家の一員になった。

あれから1年が経つ。一緒に暮らしていると、つくづくこのご主人は皮肉屋で変わり者だと思う。今年も親しい人への年賀状の添え書きに「腰が痛くなった、このままでは好きな釣りが出来なくなる。総合病院の循環器科と整形外科で精密検査を受けたが異常なし。カミさんの「運動不足で筋肉が弱っている」とのご宣託を信じて、毎朝五千歩を目標に犬と一緒に散歩していますが・・・やれやれ。」とある。「やれやれ」とは何という言い種(ぐさ)、私の所為(せい)ではなくあなたのための散歩でしょ、素直じゃないんだから。

この家は、奥さんのように主人の変な性格を我慢すれば長く住めそうである。

(楡田 守隆)

聖書の言葉

【いいですか。あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。(マタイの福音書 10. 16)】

【イエスは12人の弟子たちを伝道に送り出すとき、いろいろな注意をしている。8-9節には「胴巻きに金貨や銀貨や銅貨を入れてはいけません。旅行用の袋も、2枚目の下着も、くつも、杖も持たずに行きなさい。働く者が食べ物を与えられるのは当然だからです。」17節では「人々には用心しなさい。彼らがあなたがたを議会に引渡し、会堂でむち打ちますから。」と下世話で具体的なことを言っている。素直に読めば「危ないからお金を沢山持つな、旅の身支度も質素にせよ、人を信用するな」という戒めと解釈する。あるプロテスタント系教会のホームページは『弟子たちにはお金もなければ、身を守る杖もありません。ただ福音を語る権能と汚れた霊を追い出す権能を、イエス様からいただいただけです。狼の中では、自分の知恵、頑張りや熱意だけでは生き延びることはできません。蛇のように賢く、鳩のように素直に、また安易に人を頼るだけでも、生き延びることはできません。』と説く。】

【若いころの溪流釣りは、3月解禁の馬瀬川上流からだった。毎年行く石積みの土手の穴から、冬眠を邪魔された夫婦そろって這い出してくる。エバを騙したお蔭で腹這いの生き物にされ、みんなに嫌われているヘビだが、毎年決まって挨拶されるといとおしくなる。日本では神様のもとへ新年の挨拶に来た順で十二支に選ばれたヘビは今年の当番、証券業界に伝わる相場格言では「辰巳天井」という縁起の良い年らしい。28日の日経夕刊は「株価が一時2年9か月ぶりに回復」、また「一時2年7月ぶりの円安・ドル高」と書く。巷間、景気の「気」は気分の気だという。事実、安倍政権は何もしていないのに株は上がり、円は下落した。近頃のメディアも一斉に「アベノミクス」とやらを囁き立てる。「円安に乗る!」(ダイヤモンド)、「安倍バブル 本場に儲かるのはこれからだ」(週刊現代)、何だか胡散臭い「気」がする。もう踊らないぞ。】

